

I 平成19年度事業報告書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

1 主要な会議

(1) 理事会

平成19年6月11日	第1回	18年度決算，理事長等の互選等
平成19年7月16日	第2回(書面表決)	評議員の補欠選任
平成20年1月11日	第3回(書面表決)	評議員の補欠選任
平成20年2月13日	第4回	20年度事業計画及び予算等

(2) 評議員会

平成19年4月13日	第1回(書面表決)	理事の補欠選任
平成19年6月6日	第2回	18年度決算，理事の選任等
平成19年12月10日	第3回(書面表決)	理事の補欠選任
平成20年1月15日	第4回(書面表決)	理事の補欠選任
平成20年2月7日	第5回	20年度事業計画及び予算等

2 事業報告

(1) 環境学習事業

① 自主事業

ア 自然体験セミナー

広く全国から参加者を募り，自然を体験したり環境文化を学ぶため，屋久島のフィールドを活用した自然観察や屋久島の人々との交流等を行った。

イ ふるさとセミナー

島内の方々を対象に，屋久島の身近な自然を素材にしてふるさとの新たな一面を発見し，自然のすばらしさを学ぶための体験型研修を行った。

- ・冒険しよう(手作りいかだでの川下り等)
- ・開館記念行事(理科実験，木工クラフト，自然観察)
- ・出張クラフト(栗生小で木工クラフト)

ウ 星空観察会

星座や宇宙への関心を高めるため，島内各地で季節ごとの星空観察を行った。

エ 自然に親しむ集い

屋久島のコケについて学ぶ「コケの観察会」を実施した。

② 環境学習受入事業

財団が作成した学習プログラムを活用して宿泊研修，一日研修，短時間研修を行うグループの受入れを行った。

③ 人材養成事業

エコツアーガイドの育成，資質向上を図るため，ガイドセミナーを行った。

- ・ガイドセミナー「屋久島のエコツアーを学ぶ」12月12日～14日 15人
- 「救急法を身につける」1月30日～2月1日 20人

④ 屋久島高校環境学習支援

自然の中で行われる学習活動(野外活動，動植物の観察等)を通じて，屋久島の自然環境への理解を深めることを目的に，屋久島高等学校環境コース夏季宿泊研修(9月12日～14日：生徒4名)に対し，助成を行った。

⑤ 屋久島研究講座

エコツアーガイドや観光関係者、教職員等、広く一般社会人を対象とした屋久島研究講座を開講した。

- ・ 5月31日 屋久島・口永良部島の自然とコウモリたち
講 師：國崎 敏廣 氏
参 加 者：83名
- ・ 11月15日 屋久島の共生と未来（講演・公開シンポジウム）
講 師：矢原 徹一 氏， 荒田 洋一 氏
鈴木 克哉 氏， 松田 裕之 氏
パネラー：田川 日出夫 中核施設館長
牧瀬 一郎 氏， 日高 忍 氏
コメンテーター：松田 裕之 氏， 立澤 史郎 氏
参 加 者：99名
- ・ 2月8日 山師が語る屋久島の山守
講 師：高田 久夫 氏
参 加 者：110名

⑥ 研究者ネットワークの構築・運用

屋久島関連の研究者の名簿作成に係る資料収集やデータベース化を行い、研究者講演会やセミナーの講師招聘等に役立たせた。

屋久島関連の研究者の連携を推進するため、メーリングリスト（電子メールを使ったインターネット活用法のひとつで複数の人に同じメールを配送できる仕組み）の運用を開始した。

研究者との交流を図るため、屋久島フィールドワーク講座に参加した。

⑦ 環境学習ネットワーク会議

島内の環境学習関連施設等と連携し、事業計画の相互調節や利用促進のための情報や意見の交換を行った。また、電子メールやFAXを利用した情報交換の連絡網を整備し、活用を図った。

⑧ 屋久島調査研究視察等協力

屋久島の自然保護や地域づくりの取り組み、環境文化村構想等について調査研究・視察・取材等を行う者に対して適切な情報提供を行った。

(2) 環境形成事業

① 環境保全普及啓発

環境保全の重要性を啓発するため、マナーガイド、水溶性ポケットティッシュ等を配布した。また、環境省が作成したマナービデオを文化村センターで常時放映した。

また、両町合併、口永良部島の国立公園区域編入などの変更に伴う、啓発パンフレット等の改訂・修正を行った。

② 山岳部利用対策

ゴールデンウィークと夏休み期間中、山岳部利用対策協議会等と連携し、荒川登山口及び縄文杉周辺でのマナー指導、パトロールを行った。

また、環境保全の取り組みとして、山岳部トイレのし尿処理の費用の負担について屋久島を訪れた方々に協力していただく制度の導入に向けた検討・協議を屋久島山岳部利用対策協議会の構成機関と連携を図りながら推進した結果、20年4月から「屋久島山岳部保全募金」の導入が決定された。（募金額：一口500円）

③ 環境保全活動支援

環境保全の意識向上のための啓発運動等に取り組んでいる島内のグループ、団体等に対する支援を行った。

ア 一般枠（10万円／1件）

- ・「割り箸等のリサイクル推進」（何かやってる会）
- ・「ヤクシマカワゴロモの分布調査と環境教育」（ヤクシマカワゴロモ研究会）
- ・「ホテルとツマベニチョウの里整備」（ホテルを守る会）

イ 特別枠

- ・「ヤクタネゴヨウの調査研究・保全活動」（屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊）（85万円）
- ・「メヒルギ保護」（メヒルギ保護ボランティアの会）（200万円）

④ 自然保護活動

ア うみがめ保護

うみがめの産卵環境を保護するため遮光林の植栽・維持管理や海岸清掃を行った。

・遮光林維持管理

委託先：NPO屋久島うみがめ館

遮光林維持管理・海岸清掃 永田いなか浜

遮光林植栽

一湊一ツ浜

・海岸清掃

平成19年4月14日 海祭り海岸清掃参加 一湊一ツ浜

平成20年3月15日 海岸清掃参加 一湊一ツ浜

イ ヤクシマシャクナゲ保護管理

13年度に小杉谷に植栽したヤクシマシャクナゲの除草、追肥等の管理を行った。

ウ 屋久島産の苗木を育てる運動

島内の小学校に補植用の苗木や用土等の提供を行った。（平成21年度で終了予定。）

(3) 交流推進事業

① 情報の収集・提供

ア 財団会報「屋久島通信」（A4版, 12ページ）の発行

全国の屋久島ファンクラブ会員等に対して、屋久島の情報を提供した。

- ・第36号（平成19年7月発行）：口永良部島国立公園編入特集ほか
- ・第37号（平成19年11月発行）：財団の活動報告など
- ・第38号（平成20年3月発行）：屋久島自然体験セミナー案内、屋久島関東ファンクラブ創立5周年ほか

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行

毎月1回島内の全戸に配布し、財団の活動状況を紹介するとともに、島民の来館、参加を呼びかける情報発信を行った。

② 財団ホームページの運用

財団ホームページをリニューアルして情報内容を充実させ、屋久島と財団の情報を島内外に発信した。

③ 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

財団の活動を支援・協力していただくファンクラブ会員に「屋久島通信」による情報提供を行うとともに、出郷者会員を中心にファンクラブ会員増に努めた。

- ・ファンクラブ会員数 1, 161人（平成20年3月末現在）

うち会費自動振込利用者数 47人(平成20年3月末現在)
うち19年度新規加入者数 143人(")

④ ボランティアネットワークの構築・運用

ア 屋久島の環境保全活動等に協力していただける人々を登録する環境文化ボランティア制度の周知に努めるとともに、ボランティアの集い、島内でのボランティア活動及び研修会を行った。

イ メーリングリストを導入し、島内のボランティア情報を提供した。

- ・ボランティア登録者数 254人(平成20年3月現在)
- 〔夏休みイベント手伝い(むらせん夜祭り) 7月16日 3人〕
- 〔ボランティアの集い 1月25日～27日 13人〕

⑤ 環境文化芸術活動支援

優れた文化芸術活動を行っている島外の個人・団体等に島内で発表の機会を提供するための支援を行い、島民の文化芸術意識の向上を図った。

- ・「塩谷哲ピアノコンサート」 8月10日屋久町総合センター 350名
- ・「杉の香コンサート」 1月27日 " 350名

⑥ 環境保全地域交流

島内の青少年を環境保全活動の先進地域に派遣し、その取り組みを体験的に学習させるとともに、各地の人々との交流を推進するため、第8回全国高校生自然環境サミット沖縄大会(8月1日～3日)に参加した屋久島高等学校環境コースの生徒4名の旅費を助成した。

(4) 屋久島地域づくり支援事業

① エコツーリズム支援

屋久島におけるエコツーリズムを推進するため、ガイドセミナーや屋久島研究講座を実施し、ガイドの資質向上に努めた。

また、エコツアー企画の参考資料として「屋久島歴史小年表」を作成し、ガイド、小・中学校等に配布した。

② 地域づくりイベント支援

地域づくりを支援するため、イベントや活動等に対し支援を行った。

ア 一般枠(5万円/1件)

- ・第14回超自然・屋久島ツー・デー・マーチ 5月12日～13日
- ・第26回屋久島ご神山まつり 8月4日～5日
- ・やくしま夏まつり 9月22日

イ 特別枠(15万円/1件)

- ・屋久町閉庁記念式典(郷土芸能発表祭) 9月22日
- ・上屋久町閉庁記念式典(ファイナルイベント) 9月24日

(5) 財団管理運営事業

① 環境文化村構想の普及啓発

環境文化村構想を普及するため、「財団パンフレット」や「環境学習スポット」、「文化村センターリーフレット」を配布した。

また、関東出郷者会合同記念式典(9月2日:東京都)、近畿屋久島会(11月11日:大阪市)などの出郷者会のほか、関東ファンクラブ5周年記念講演(2月23日:東京都)において、文化村構想の普及啓発を行った。

② 効率的な管理運営の推進

管理運営方針に基づく管理運営や施設の利用促進のための広報に努めるとともに

に、20年度に向けた業務の見直しなどを行った。

- ・開館11周年記念事業の実施
- ・環境文化村センター（宮之浦）及び環境文化研修センター（安房）の利用促進のための広報活動

③ 財政基盤強化対策

財団の自律的運営能力の向上のため、環境保全募金活動の展開、屋久島ファンクラブの加入推進、賛助企業の拡大などに努めるとともに、基金の有効活用を図るため、鹿児島県地方債を購入した。

(6) 屋久島環境文化村中核施設管理運営等事業

屋久島環境文化村の中核施設である環境文化村センター及び環境文化研修センターの管理運営業務を県から受託し、その適切な管理運営に努めた。

ア 開館11周年記念事業

- ・養老孟司氏講演会 演題「環境と森と人」 4月22日
- ・島民感謝デー 7月16日～22日
- ・むらせん感謝デー、まるりん撮影会 7月16日
- ・まるりん展 7月16日～31日
- ・むらせん夜祭り 7月16日
- ・映画会Ⅰ「ロボッツ」（子供向） 7月16日
- ・映画会Ⅱ「千の風になって」（大人向） 7月22日

イ エントランスホール特別企画展示

- ・口永良部島国立公園編入記念パネル展
平成19年6月27日～12月18日
- ・龍神杉登山道供用開始記念パネル展
平成19年12月19日～平成20年6月中旬

ウ 交流ホール特別企画展

- ・小杉谷集落写真パネル展
平成19年12月12日～平成20年1月31日